

アタマジラミにご注意!

～子どもの髪の毛が大好きな吸血害虫～

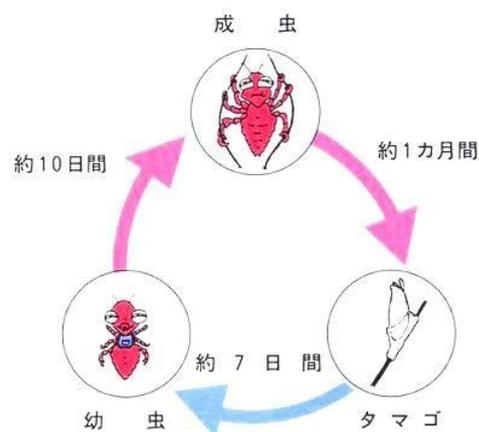
アタマジラミというと不潔の代名詞のように思われていますが、衛生状態に関係なく感染します。特に保育園、幼稚園、低学年児童に季節を問わず発生します。頭や体をくっ付けて遊んだり、集団で昼寝をしたりすることが蔓延の原因になっているようです。最近では海外渡航者が日本国内に持ち込む場合や知識不足から広く感染するケースが増えているようです。



アタマジラミの成虫

アタマジラミはどんな虫?

アタマジラミの成虫は約2～3mm、卵の大きさは約0.5mmです。卵は髪の毛に産み付けられ、約7日間で幼虫になり、その後、約10日間で成虫になって頭皮を吸血します。卵の色は灰白色、成虫は灰褐色です。寿命は1ヶ月くらいで、その間にメスは卵を髪の毛に200～300個生みます。髪の毛から落ちて吸血しなくても3日程度は生きています。



チェックの方法

成虫は動きが早いので見つけることは困難ですが、卵は注意深く見れば見つけることができます。卵は髪の毛に斜めに付着しています。虫眼鏡で見るとよく観察できます。フケと脂肪の塊を幼虫になったあとの抜け殻と間違いやすく、卵もどきといわれます。幼虫のふ化前の卵は毛の根元に見られ、ふ化後の抜け殻は毛の根元から離れています。ぬけ殻はしっかりとくっついていて指でつまんでも取れませんが、フケや脂肪は取れやすいので区別がつかます。

感染経路

- ① 髪の毛と髪の毛が直接接触して感染します。
- ② クシ、タオル、寝具、帽子など身体に直接接触するものを共用することによって感染します。

吸血された時の症状

吸血が繰り返し行われているうちにかゆみが起こります。その度合いは人により異なります。かゆがらないこともあります。特に、後頭部や耳の後ろにかけて多く寄生するため、その部位を強くかゆがることがあり、皮膚炎を起こすことがあります。

感染に気がいたら

- ① 市販の薬や専用のシャンプーはありますが、皮膚炎を起こしている場合がありますので、皮膚科などに受診しましょう。
- ② 髪の毛は短く散髪し、毎日、丁寧に大人がシャンプーしてあげましょう。洗髪後、目の細かいスキグシやブラシで髪の毛を丁寧にすかし、アタマジラミの卵を探します。見つけたら、卵のついた髪の毛を切り取ります。10日間くらいこれを続けます。
- ③ タオル、シーツ、枕カバー、下着などは共用をさげ、毎日こまめに取り替え、乾燥機や熱湯などで熱処理をした後で洗濯し、更にアイロンをあてると効果的です。布団は天日に干します。
- ④ 部屋は掃除機をかけ、髪の毛は吸い取ります。
- ⑤ アタマジラミは不潔さとは無関係です。誰にでも感染するということを保護者の方や保育園が正しく認識し対応することが大切です。「シラミがいるお友達と遊んではだめ。」とか「そばへ行ってはだめ。」など何気ない一言で子どもの心は傷ついたり、いじめにあったりします。ご注意ください。